

開会ご挨拶

角田 秀穂（農林水産大臣政務官）

本日8月31日は、今から40年前に、野菜などの青果物を取り扱う生産流通の9団体が、野菜の良さを知ってもらう目的で、野菜の日として制定した記念日に当たります。現在、新型コロナウイルス感染症の影響や、ウクライナ危機などで、改めて、日本の食料安全保障を強化する必要性が高まっています。今後とも、日本の農業が国民の皆さんに農産物を安定的にお届けしていくためには、何よりも国民の皆さんに国産の農産物を選んでいただき、食べていただく必要があります。

一方で、健康増進法に基づき策定された国民の健康の指針となる「健康日本21」では、健康維持の観点から、成人1人1日当たりの野菜摂取量を350グラム以上とする目標が掲げられていますが、現在の平均摂取量は280グラム程度で、特に若い世代で不足が目立っています。

そこで本日は、「もっと野菜を食べよう～若い世代の摂取量を増やすために～」と題して、最新のデータに基づいた野菜の重要性について基調講演を行うとともに、若い世代の摂取量を増やすための方策等について、各分野でご活躍されている皆様とともに議論し、理解を深めたいと考えております。

本シンポジウムが、各地域で野菜摂取量の増加につながる一助になるとともに、ご講演の皆様、また、ご参加いただいている皆様方にとって有意義なものとなることを祈念して、私からのご挨拶とさせていただきます。

本日はご参加いただき誠にありがとうございます。

令和4年8月31日

農林水産大臣政務官 角田 秀穂